

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（令和2年9月号）

「お知らせ」令和2年9月1日

秋の到来を告げる「白露」（はくろ＝9月7日）も遠くないのに猛暑が続きます。それでも朝夕は多少しのぎやすくなるのでしょうか？

これからの活動予定をお知らせいたします。無理のない範囲でご参加くださると幸いです。場所は南口電停前「みんなの庭」です。



<9月13日（日）9:00~10:30、10月は11日（日）、11月は15日（日）の予定です>

〇トピックス：

8月は有志の手で汗だくの夏草取りと水やりに励みました。南口の「みんなの庭」では暑さに負けず、どなたかが植えてくださった季節の花が涼しげに咲いていますが、さて、名前をご存じですか？



.....続きは次ページをご覧ください.....

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」名義 普通 0709695



大震災を乗り越えて・・・東松島市 宮野森小学校(宮城県)

現代の渡来人 C. W. ニコルさんが子供たちに遺した「森の学校」

俯瞰写真:(株)シェルターHPより



被災当時の小学校

2017年開校の小学校-
校歌は「森はともだち」

2011年3月の東日本大震災は、人口4万の東松島市に、家屋流失・全半壊1万(全世帯の7割)、死者1,109人という壊滅的な被害をもたらしました。

被災した小学校は高台に移転、地元材を使った木造校舎に生まれ変わりました。当初はコンクリート造りの計画でしたが、被災地の森の再生に余生を賭けたニコルさん懸命の説得で木造に。

豊かな里山に抱かれ、美しい松島湾を望む学び舎は、生徒たちが元気に通うだけでなく、住民に開放されています。



正面写真。幾つかの棟に分かれている(住友林業HPより)



裏山に面した運動場



2年生の教室



体育館内部

○ C. W. ニコル: 作家・環境保護活動家・探検家。1940年英国ウエールズ生まれ。62年初来日、80年長野県黒姫に定住、加速する自然破壊に衝撃を受け、荒れ果てた里山を私費で購入「アファンの森」と名付けて森の再生活動を開始。その後財団を設立して全国に展開、東日本大震災被災地復興にも尽くす。95年日本国籍取得。2020年4月3日没(肖像とも同氏HPより)。○下半分3枚の小学校写真は「新美術情報2017」より。